

令和4年4月12日

保護者 各位

ふれあいの苑関係事業所
管理者 黒壁 修

新型コロナウイルス感染症（陽性）の経過について（4報）

保護者の皆様におかれましては、ふれあいの苑関係事業所の運営につきまして、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、4月7日（木）以降につきまして、江別保健所の指導によりPCR検査の結果2名の方が陽性と判明しました。

これまでに陽性診断された方は、利用者様12名、職員2名の14名となります。今回、陽性になられた方の症状として、発熱当初は37.1℃～39.0℃と高い熱が出ましたので解熱剤を服用していただき、その後は平熱に戻っています。喉の痛みと声がれが2日～3日続きましたが、現在は症状は見られていません。

また、11日（月）までに、7名の利用者様が療養期間を経過し、症状がないことから療養解除となりました。職員につきましても8日（金）から1名職場復帰、12日（火）に、もう1名職場復帰しました。

集団感染発生時から、コロナ感染対策本部を設置していただき石狩振興局を対策本部として、江別保健所・新篠津村・ふれあいの苑にてZoomによる会議を既に4回行ったところです。

会議では、

- ① 陽性者の体調確認
- ② 新たに感染の疑いのある方の体調確認
- ③ 衛生用品等の不足が無いかの確認
- ④ PCR検査の実施日の調整
- ⑤ 職員の勤務体制の確認
 - ・ふれあいの苑関連事業からの応援体制
 - ・法人内への派遣依頼
 - ・他法人への派遣依頼

以上のことを協議したなかで検討頂き指導を受け、行政からのご助言は私達にとってとても心強いものです。

今後も。利用者様の健康観察を行い5名の方の療養期間を無事経過することと、感染を広げないよう感染予防に努めてまいります。

なお、みのりの苑・支援センター「こすもす」は通常業務を行っています。

※ 感染された利用者様・職員の氏名・年齢及び施設名は公表しておりませんので、ご理解賜ります。